



平成28年 6月20日(月)

高山村立 高山小学校だより No.2

〒382-0831 上高井郡高山村大字高井3455



夢先生 ありがとう！

★今年は5・6年生が「夢の教室」実施

村教育委員会のご配慮によって、昨年度から始まった「夢の教室」。今年は2日間、5・6年生の4クラスで実施されました。この教室は、現役を引退した元トップアスリートが来校し、仲間と力を合わせることの大切さや、挫折を乗り越えて夢を追いかけることの素晴らしさを学ぶ教室です。

JFA（日本サッカー協会）の社会貢献事業ですが、来てくださる先生はサッカー選手とは限りませんし、サッカー教室ではありません。

6月2日（木）5年生の教室にやってきた夢先生は、元パラリンピック、アイススレッジホッケーの銀メダリスト、馬島 誠先生です。学生時代に高圧電流を受ける事故に遭って生死をさまめた後に下半身に障害を負い、車いすの生活になりました。人生に絶望するような衝撃的な挫折から立ち直り、アイススレッジホッケーと出会い努力を重ね、パラリンピックで銀メダルを獲得しました。それどころか現役を退いてなお、新たにパワーリフティングという競技に挑戦し、リオのパラリンピックを目指しているとのこと。どんな挫折にもくじけず、挑戦し続ける生き方に、子ども達も我々教師も感銘を受け、生きる勇気をいただきました。



「顔晴る」自分も仲間も笑顔になれるような
がんばりを！ 「他喜力」仲間や友達、
大切な人を喜ばせよう！（馬島 誠）



花が咲かない寒い日は 下へ下へ根を伸ばそう。
やがて大きな花が咲く。（須藤大輔）

6月3日（金）6年生のもとにやってきた夢先生は、元Jリーガーの須藤大輔先生です。ベルマーレやヴァンフォーレでプレーして、2007年には得点王に輝いた元スター選手です。こんなすごい選手にも挫折体験があったそうです。正月の高校選手権、国立競技場でプレーしたいと夢をもち、小学生の頃から努力を積み重ねました。高3の時、ようやくその夢がかなって国立でキックオフ。しかし開始直後に相手と接触、けがをしてしまい、その夢は数秒で終わってしまいました。その後もプロを目指しますが、下積みが続きなかなか叶わず、けがにも泣かされませんが夢をあきらめることなく努力を積み重ねました。そしてついにJリーグに入れました。その後も栄光と挫折を繰り返しかげと戦い続け、最後に

身体がボロボロになって限界を迎え、引退を決意しました。現在は子どもたちの指導をする傍らで、Jリーグの監督になるべくライセンスの取得に向けて努力しているそうです。一流の選手は、挫折を乗り越えたからこそ一流になれたんだな、と分かりました。私たちは夢先生の生の声で語っていただく体験のすごさに感動するとともに、夢を持つことの素晴らしさや努力を積み重ねることの意義を教えてもらいました。ステキな人生ですね。

来年度以後は、毎年5年生で「夢の教室」を実施する予定です。楽しみに待っていてください。

☆東京混声合唱団に魅了されました！

東京混声の皆さんは一流のプロの合唱団です。大きなコンサートホールでは、高いお金を払わなければ聴けないような、すごい人たちです。6月1日は、中学生も体育館に来て、一流の歌声を体育館で一緒に聴くことができ、とても幸せな時間を過ごすことができました。外国の有名な曲やよく知っている日本の曲やアニメソング、オペラ歌手の独唱など、次々に素晴らしい歌声が響き渡りました。「信濃の国」を一緒に歌うことができたり、中には「蚊」の音のみのコミカルな曲も披露してくださいました。飽きることのない素敵な時間は、あっという間に過ぎていきました。音楽会前に素晴らしい歌声に触れることができ大変勉強になりました。美しい歌声とは、澄んだ響きのある歌声なんだと分かりました。芸術鑑賞教室は、演劇鑑賞と音楽鑑賞を1年おきに繰り返して行われます。来年は演劇の予定です。



自転車クラブ 須高地区子ども自転車大会 団体9連覇達成！



6月12日に行われた須高地区大会では、本校自転車クラブのメンバーが圧倒的な実力を見せつけて、団体9連覇を達成しました。8人の選手が出場し、史上初の2人優勝の他、8人とも個人で9位以内に入る活躍ぶりでした。技能走行は特に難しい運転テクニックが要求されるので、他校の選手のほとんどが思い通りにできず、特にジグザグ走行で失敗を繰り返すのが普通です。本校の選手はミスをしないことが当たり前になっている

ので、まるでお手本のように走行していました。高山小の選手が走行すると会場内に拍手が沸き起こります。これも山岸信行先生の厳しい指導のもと、普段の練習の積み重ねだと思いました。栄光の陰には努力の積み重ねと苦難を乗り越えた時間がありました。体育館が天井工事で使えなかった冬の期間も廊下やふるさとセンター体育館使って練習してきました。



3人の女子マネージャーも常に選手を支え続け、ここまで来ました。

7月2日に行われる県大会は、松本市で行われます。8連覇と全国大会出場がかかっています。やはり強さを見せつけた昨年よりも安定感が増してパワーアップしています。抜群のチームワークでプレッシャーをはねのけて、大きな飛躍を！新たな歴史に名を刻め！



わくわく村にワクワク

5月26日に開村式を終え、今年もわくわく村が始まっています。講座の数は20に上り、のべ443人（1人で複数の申し込みをしている子もいます）の児童が参加申し込みをしています。わくわく村の活動は、親と子のふれあい体験講座です。地域と一緒にとび出して、村の人たちとの交流を楽しんだり、村の自然や文化・風土に触れて村の良さを味わったり再発見したりして、村をもっと好きになる活動ともいえます。

子ども達だけでなく、保護者も地域も一緒に成長する活動になっていくと思います。そうした活動が評価されて、高山小学校はユネスコスクールとして認定されているのです。わくわく村は、学校・PTA・地域・公民館が垣根を超えて連携し、わくわく村運営委員会が中心になって運営しています。こうした皆さんの地道な支えがあって長年続いています。本当に感謝です。「わくわく村だより」をよく読み、持ち物や活動日を忘れないようにしましょう。7月3日に行われる、郡PTA研究集会でもレポートで紹介される予定です。



学校支援ボランティアの皆様、今年もありがとうございます。



はじめの会

今年は4月26日にボランティアはじめの会を行いました。現在までに37名のボランティア登録をいただいております。

ボランティアの活動内容は、書写指導、川柳教室、遊び、語らい、清掃支援、給食支援、授業支援、調理実習の手伝い、交通安全見守り、読み聞かせなど、実に多種多様です。それぞれのボランティアの皆さんが、ご自分の得意分野を生かしたり、ちょっとずくを出してください



1年カラスノエンドウの笛吹きあそび支援

たりして、何よりも楽しんで活動をしてくださいています。あるおそうじボランティアさんは「子ども達に仲間に入れてもらって、楽しんでやっていますよ。」とおっしゃっていました。感謝です。高山小学校は地域に開かれた学校づくりを目指すと同時に、村教育委員会が立ち上げようとしている高山村共育コ



2年よもぎ団子作り支援

ミュニティに参画し、地域の皆さんが積極的に学校教育に関わっていただけるしくみ作りに寄与しています。学校支援ボランティアの皆さんの活動はその一環でもあります。ボランティアの皆さんが来て下さると、子どもたちは本当に嬉しそうです。教職員も助かっています。これからもよろしくお願いします。また、新たなボランティアを随時募集しています。登録お待ちしております。

大地讃頌 土に感謝し土に生きる



5年生の稲作体験を支援して下さるのは、山口政司さんです。城山の下の田んぼを貸して下さり、代かきや田植え体験をさせて下さいました。ここ数年は学校敷地内の狭い陽の当たりにくい田んぼで細々と稲作体験をしてきました。今年は何とか本格的な体験をさせたいと考えたところ、山口さんが田んぼを貸して下さり、稲作の指導や田んぼの管理もして下さるので本当にありがたいです。稲刈り、脱穀などの収穫の秋が楽しみです。

学校の下にある農場では、各学年が畝を作って作物（主にサツマイモ）を栽培し始めました。このために、PTA 幹事の福田さんがたい肥置き場のたい肥をパワーショベルですくい出して、農場に撒いて下さいました。村地力回復センター福井原コンポの有機肥料たっぷりの土も運び込まれ、活用させて頂きました。あとは水やりや草退治など、農業の基本を地道に行っていきます。2年生の酪農、3年生のリンゴ、4年生のワインブドウなど、たくさんの村の人たちに支えられて、村の基幹産業である農業の体験学習ができます。そのことを忘れてはいけませんね。心から感謝申し上げます。



藤岡牧夫さん 自作絵本寄贈

小布施町にあるおぶせ藤岡牧夫美術館館長でもある藤岡さんが、本人が制作した絵本「森のくまさん」を寄贈して下さいました。心やさしくくまさんと子どもたちが、千曲川の源流を目指し、自然の中を旅しながら、自然の力強さや美しさ、森のありがたさを感じ取っていく、「人と自然とのつながり」をテーマにしたストーリーです。川上村まで何度も足を運んで取材を重ね、構想を練りあげた渾身の作品だとのこと。絵がとってもすてきです。なんだか心がほっこりしてきます。図書館に置いてあります。たくさんの子供たちに読んでほしいと思います。

いよいよです。音楽会にお越しください。

6月23日（木）は音楽会です。この日に向かって、どの学級・学年も一生懸命練習に取り組んできました。子ども達が輝く姿をぜひご覧ください。雨で校庭に駐車できないときは、役場や除雪センター、中学校を利用してください。

